

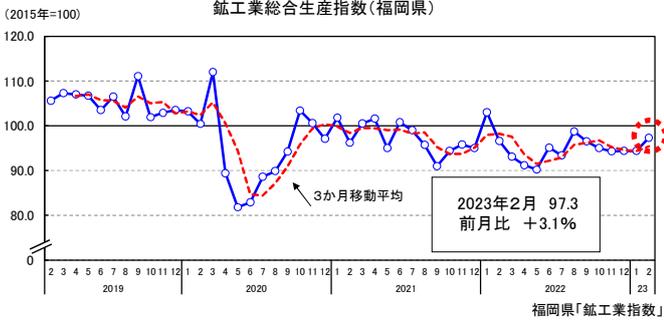
ふくおかの経済

令和5年4月号

生産

持ち直しの動きがみられる。

2月の生産指数は輸送機械工業などの上昇により、2か月ぶりに前月を上回りました。

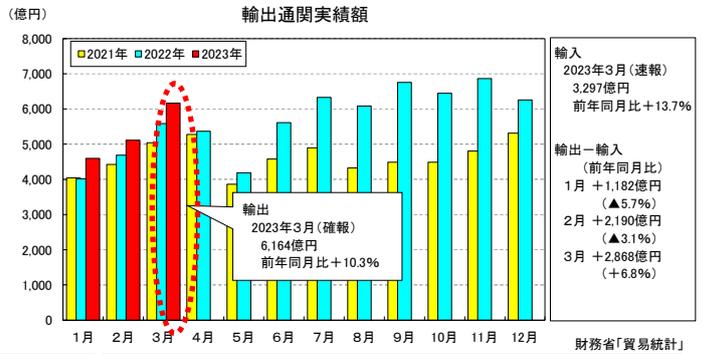


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

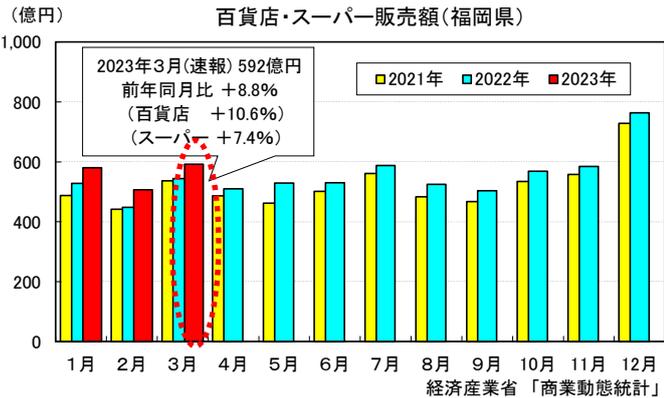
3月の輸出額は、前年同月比+10.3%、輸入額は同+13.7%といずれも前年同月を上回りました。



消費

持ち直している。

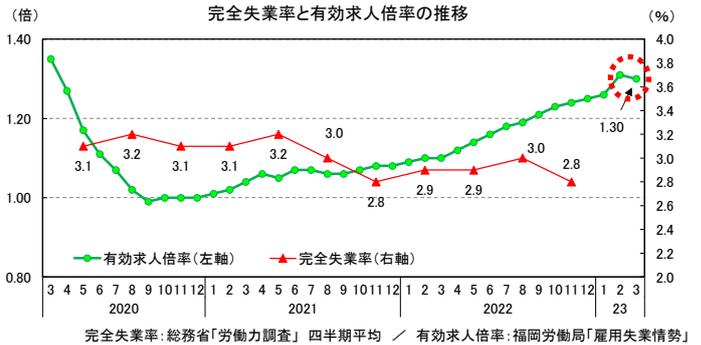
3月の百貨店・スーパー販売額は、18か月連続で前年同月を上回りました。



雇用

雇用情勢は、改善している。

3月の有効求人倍率は1.30倍で、前月を0.01ポイント下回りましたが、前年同月では0.2ポイント上回りました。



完全失業率:総務省「労働力調査」四半期平均 / 有効求人倍率:福岡労働局「雇用失業情勢」
「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。
1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のトピック 増加を続ける世帯数

○福岡県の人口は、2000年から2020年の間に12万人(+2.4%)増加しましたが、世帯数は41万世帯の増加(+21.2%)と人数の増加と比較し、その伸びが顕著となっています(図表1)。

○世帯数の内訳では、一人世帯が37万世帯の増加と多くを占めています。一人世帯の年齢別推移をみると、20代後半以降の全ての年代で増加しており、未婚化に加え、死別や離別の影響であると考えられます。一方で、20~24歳は減少しており、この間に当該年代は36.8万人→27.6万人と9.2万人減少したことが強く影響したものと考えられます(図表2)。

○国立社会保障・人口問題研究所による2019年推計では、福岡県の一人世帯数について、2035年まで増加すると推計されています。年少人口の減少といった人口の動きとともに、世帯構成の変化も見ていく必要があります。

